

文書名	黒田藩農政資料 No.
所蔵者 住所・氏名	九州大学法学部
撮影年月日	昭和56年 7月 16日
福岡県文化会館	

黒田藩農政資料

K1 18
K
1 1 3

已... 今... 刻...

但... 可...

... 年... 此... 湖... 官... 一...

... 能... 沙... 廣... 中... 廣... 也... 古... 古...

田屋上り

一新り

田屋上り
一新り
古給に後年、昔の、方々、古原を、
古給の、古給、古給、古給、古給、
古給、古給、古給、古給、古給、
古給、古給、古給、古給、古給、

一河原

化野

一河原
化野
一河原、一河原、一河原、一河原、
一河原、一河原、一河原、一河原、
一河原、一河原、一河原、一河原、

一水

一水
一水、一水、一水、一水、一水、
一水、一水、一水、一水、一水、
一水、一水、一水、一水、一水、

一水川

一水川
一水川、一水川、一水川、一水川、
一水川、一水川、一水川、一水川、
一水川、一水川、一水川、一水川、

一水

一水
一水、一水、一水、一水、一水、
一水、一水、一水、一水、一水、
一水、一水、一水、一水、一水、

一水

一水
一水、一水、一水、一水、一水、
一水、一水、一水、一水、一水、
一水、一水、一水、一水、一水、

本村に依りて其の年々秋月には
其の年々其の年々其の年々其の年々
其の年々其の年々其の年々其の年々

本村

三河州の...
其の年々其の年々其の年々其の年々

本村に依りて其の年々秋月には
其の年々其の年々其の年々其の年々

本村

一高田村...
其の年々其の年々其の年々其の年々

一高田村...
其の年々其の年々其の年々其の年々

一高田村...
其の年々其の年々其の年々其の年々

一高田村...
其の年々其の年々其の年々其の年々

一高田村...
其の年々其の年々其の年々其の年々

一 砂林... 田村...
村... 田村...

一 河... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一 田... 田村...
田村... 田村...

一言盛に地事の中を定候上田を考へ振る事あり
及之を以て其物とて之を名取申す事あり候事也
感候事利田候事一々余未だ其申候事感申す事
感申す事利田候事一々余未だ其申候事感申す事
利田候事一々余未だ其申候事感申す事

但此は僅分り候事申候事一々大抵候事
乙考申す事未だ其申候事一々大抵候事
乙考申す事未だ其申候事一々大抵候事
乙考申す事未だ其申候事一々大抵候事

利田候事一々余未だ其申候事感申す事

利田候事一々余未だ其申候事感申す事

利田候事一々余未だ其申候事感申す事

利田候事一々余未だ其申候事感申す事

利田候事一々余未だ其申候事感申す事

利田候事一々余未だ其申候事感申す事

利田候事一々余未だ其申候事感申す事

利田候事一々余未だ其申候事感申す事

利田候事一々余未だ其申候事感申す事

歴代天皇の御事

一 寛和元年秋八月御遷都事

内

十吉九拾二石計九月命

八拾石計九月命

内

右内侍等御事

平治元年秋八月御遷都事

一 寛和元年秋八月御遷都事

一 寛和元年秋八月御遷都事

一 寛和元年秋八月御遷都事

一 寛和元年秋八月御遷都事

一 寛和元年秋八月御遷都事

一 寛和元年秋八月御遷都事

一 寛和元年秋八月御遷都事

一 寛和元年秋八月御遷都事

一 寛和元年秋八月御遷都事

一 口九年... 故友... 年

一 慶長... 年二月... 代官... 年

一 江戸... 年

一 慶長... 年七月... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 一... 年... 代官... 年

一 寛保元年八月海客上表秋高及後三年

一文文曰去年冬十一月撫下

一 同文年八月二十日撫下

一 年內海客上表為上年八月

一 地押城 或自月より

一 明和元年二月始、元徳元年海客上表

一 相子藩の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 地押城の書、元徳元年海客上表

一 江國... 所... 古... 氏

此... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

一 氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

一 氏... 所... 氏... 氏

一 氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

氏... 所... 氏... 氏

一 氏... 所... 氏... 氏

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

一 山崎の地を以て其の地 山崎の地

於此所管之...

上... 免... 免... 免... 免...

種別米

一 米... 免...

右種別... 免...

利... 免...

上... 免...

免... 免...

利... 免...

三合米

一 米... 免...

免... 免...

免... 免...

免... 免...

免... 免...

免... 免...

廿合米

一 米... 免...

此書乃自... 止... 龍...

夫者...

此書乃自... 止... 龍...

一... 乃... 乃... 乃...

日

七... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃...

日

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

お成りなるといふ

初更の思郡の川又りなればとて清人の計成る

一 五甲し方と

但初更の思郡の川又りなればとて清人の計成る

一 治政後事大目

一 延正三年三月三日 治政後事大目

一 治政後事大目

一 治政後事大目

一 治政後事大目

一 治政後事大目

一 治政後事大目

一 治政後事大目

一 明治七年 治政後事大目

一 治政後事大目

一 治政後事大目

一 治政後事大目

一 治政後事大目

一 治政後事大目

一、漢書地理志：漢書地理志

一、水經：水經

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

一、水經注：水經注

日方... 部

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

山相方九音此後石金

石金分形之國相子

日

相方百九相之我計古事之令

第... 音... 在... 之... 令... 國... 此... 未...

古... 之... 在... 之... 國...

... 之... 令... 中... 川... 村...

美... 九... 計... 古... 事...

日

九... 計... 宗... 我... 令... 未... 德...

... 之... 令... 之... 我... 令... 未... 德... 此... 後... 石... 金...

此... 令... 日... 未...

但... 之... 令... 之... 令... 未... 德...

采... 之... 令... 之... 令... 未... 德...

皆

此... 令... 日... 未...

之... 令... 日... 未...

但去江平之皇太子孫

沙市口令 沙市口令

但去德承之皇太子孫

沙市口令

沙市口令

沙市口令

但德承之皇太子孫

沙市口令

沙市口令

音

一 穀 指 右 左 山 左 右 左 右

一 稻 指 中 右 左 山 左 右 左 右

批 把 考 考 考 考 考 考

一 子 編 考 考 考 考 考 考 考 考

考 考 考 考 考 考 考 考

考 考 考 考 考 考 考 考

考 考 考 考 考 考 考 考

一 免 何 種 自 行 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事
一 何 種 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事
一 互 別 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事
一 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事

一 春 免 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事
一 秋 免 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事
一 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事

一 月 免 分 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事
一 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事
一 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事
一 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事
一 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事

一 注 記 下 年 今 前 注 記 之 用 事

天文十八年十二月十日新井下作也

一 此の書は維新の事也

一 此の書は維新の事也

一 去回

一 地但

一 地別

一 地押

一 甲高

一 不承地

一 此書は維新の事也

一 此書は維新の事也

一 此書は維新の事也

一 此書は維新の事也

一 此書は維新の事也

一 此書は維新の事也

一 此書は維新の事也

一 此書は維新の事也

一 此書は維新の事也

一 此書は維新の事也

百石百貫の石を多

任事十日俵く之定

一美事大直 今言中何と及分年々増殖引儀

より山嶽儀 俵く七百九十下俵多しり

但し俵儀 入出の俵計を言明るは多しり

一言及付て甲乙のりるる元文四年申正月九日

俵く 俵計多し

一明和二年申月八日 是日 乙子 乙子 申年 俵多し 申年 申部

一其後八段 俵く 申年 俵多し 乙子 申年 俵多し

八段 俵多し

俵多し 俵多し 俵多し 俵多し 俵多し

一文化八年 俵多し 俵多し 俵多し

俵多し 俵多し 俵多し 俵多し 俵多し

目

甲 俵多し 俵多し 俵多し

乙 俵多し 俵多し 俵多し

丙 俵多し 俵多し 俵多し

丁 俵多し 俵多し 俵多し

可經廣上推日成之律

介於音之音音律定人

世間初為律言以和六律年合之

律或命賦

一書於家板書方行余

但正律法以之考

一板中平馬板

馬方音之音律定人

平法方之音律定人

一板在右

根元天何村書院

一板在右何村書院

又書於家板書方行余

一板在右何村書院

合之律法以之考

世間初為律言以和六律年合之

一書於家板書方行余

市田津田原村の古姓は...

一 田原田原

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

田原村の古姓は...

一 此物乃... 歷長年... 終始... 遠...

世... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 蓋... 乃... 乃...

一 蓋... 乃... 乃...

一 蓋... 乃... 乃...

一 蓋... 乃... 乃...

一 蓋... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 蓋... 乃... 乃... 乃...

一 蓋... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 此乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 此乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 此乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

介... 乃... 乃...

介... 乃... 乃...

一 此乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 此乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃...

一 此乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 長谷川玄白の著書

馬

今川了俊の著書

伊藤忠信の著書

菅原朝臣の著書

菅原朝臣の著書

一 伊藤忠信の著書

百十人

百十人

百十人

百十人

百十人

一 伊藤忠信の著書

一 伊藤忠信の著書

一 伊藤忠信の著書

一 伊藤忠信の著書

山崎闇斎先生遺稿

七方石

一 河内郡の山崎闇斎先生遺稿 遺稿 遺稿

此の遺稿は先生の手記である

一 河内郡の山崎闇斎先生遺稿 遺稿

此の遺稿は先生の手記である

中巻 遺稿

下巻 遺稿

村崎闇斎先生遺稿

遺稿 遺稿

一 河内郡の山崎闇斎先生遺稿

遺稿 遺稿

一 河内郡の山崎闇斎先生遺稿

遺稿 遺稿

遺稿 遺稿

遺稿 遺稿

遺稿 遺稿

一 市... 九年... 九年...

一 川... 九年... 七年...

運上... 八年... 七年...

中國... 九年...

一 九... 九年... 九年...

一 九... 九年... 九年...

一 九... 九年... 九年...

一 九... 九年... 九年...

一 九... 九年... 九年...

一 九... 九年... 九年...

一 九... 九年... 九年...

一 四... 九年... 九年...

一 三... 九年... 九年...

一 九... 九年... 九年...

定... 九年...

一 九... 九年... 九年...

一 九... 九年... 九年...

村赤良教也相傳之竹市菴之書後文百卷十片

定之免名正朝山和元文三年乙卯也

一山方在伊予之國也德永年中書出山國中

一乃田島是吳之山也乃在後志國之向後共

此之免名乃山形以列之

一形阿部麻呂朝之許備之在任也

一浮山神之山神也

此乃田島國之山形也

一此乃山形國之山形也

昔人傳世之成月也

流神傳之信也

維市傳之信也

一書信四年宜月言大指其限也

未之也

一後打松也

一地代也

一也

山形年

守り書

一 根根松實此書日次分 春陰記

一 有元文三年百四十四年夏秋年黃龍記

一 其間中已書内河内記 信年

一 上分記 中分記 下分記

一 日音記

板子運上

一 有根松長上河内文書記 夏秋年

一 古本記 運上河内記 夏秋年

一 有根松長上河内記 信年

一 日音記

竹海運上

一 有根松長上河内記 夏秋年

一 有根松長上河内記

一 日音記

草運上

一 日音記

有根松

一 日音記

揚梅

一 日音記

炭電

一 日音記

秋運上

一 復旦日報

上海

復旦日報自一九二九年創辦以來，承蒙各界人士之愛護，業務蒸蒸日上，現已出版至第...

二 上海紅組

一 關於上海紅組之成立，其目的在於救濟災民，並促進社會福利。該組自成立以來，已多次舉行義演及募捐活動，所得款項均用於救濟貧苦同胞。...

二 上海紅組之組織，由各界熱心人士組成，現已發展至數百人，其活動範圍亦日益擴大。...

三 上海紅組之宗旨，在於救濟災民，並促進社會福利。...

四 上海紅組之活動，已引起社會各界之廣泛關注，並獲得政府之支持。...

五 上海紅組之成立，實為上海社會福利事業之一大進步。...

六 上海紅組之組織，將繼續擴大，並加強與其他團體之合作。...

七 上海紅組之宗旨，將始終如一，為救濟災民而努力。...

八 上海紅組之活動，將更加頻繁，並擴大到全市範圍。...

九 上海紅組之成立，實為上海社會福利事業之一大進步。...

十 上海紅組之組織，將繼續擴大，並加強與其他團體之合作。...

十一 上海紅組之宗旨，將始終如一，為救濟災民而努力。...

此後之世... 惟... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

一... 年... 亦... 亦... 亦...

及本所行目百箇年

一村に於て其思惟の如き者にして其の如き者

此の如き者にして其の如き者にして其の如き者

其の如き者にして其の如き者にして其の如き者

其の如き者にして其の如き者にして其の如き者

其の如き者にして其の如き者にして其の如き者

檢見大略

一 本所行目百箇年

一 一村に於て其思惟の如き者にして其の如き者

一 此の如き者にして其の如き者にして其の如き者

一 其の如き者にして其の如き者にして其の如き者

一 其の如き者にして其の如き者にして其の如き者

檢見大略

一 本所行目百箇年

一 一村に於て其思惟の如き者にして其の如き者

一 此の如き者にして其の如き者にして其の如き者

一曰此書は善悪の事

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

一曰此書は善悪の事 善は功を立てて

田中文字の流しと流し分るる所を流しと流し分るる
もの

此の流しと流し分るるもの

一多田の流しと流し分るるもの
流しと流し分るるもの

但多田の流しと流し分るるもの
人との流しと流し分るるもの

一分半入るるもの
一分半入るるもの

老入の流しと流し分るるもの
老入の流しと流し分るるもの

すしと流しと流し分るるもの
すしと流しと流し分るるもの

一編しと流しと流し分るるもの
一編しと流しと流し分るるもの

一林免の流しと流し分るるもの
一林免の流しと流し分るるもの

古来の流しと流し分るるもの
古来の流しと流し分るるもの

一 凡大に修く田に収る
一 凡物修く田に毛上を修く事ありて修く事ありて思

ふ外修あり
一 高田更ら田に修あり

一 修りたる修も毛上を修く事ありて修く事ありて思
一 田に毛上を修く事ありて思

一 田に修く事ありて思
一 田に修く事ありて思

一 田に修く事ありて思
一 田に修く事ありて思

一 田に修く事ありて思
一 田に修く事ありて思

一 田に修く事ありて思
一 田に修く事ありて思

一 田に修く事ありて思
一 田に修く事ありて思

一 田に修く事ありて思
一 田に修く事ありて思

一 田に修く事ありて思
一 田に修く事ありて思

一秋徳来者ありて口米記年

一右秋徳来者ありて口米記年

一右秋徳来者ありて口米記年

一右秋徳来者ありて口米記年

一右秋徳来者ありて口米記年

一右秋徳来者ありて口米記年

一右秋徳来者ありて口米記年

一右秋徳来者ありて口米記年

一右秋徳来者ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

文段昔昔ありて口米記年

一 切田 依切法云

大切田、依他上切、每段中切字、依大切、
依段字上切、非違、依上切、上切、

一 驛田

高野、元子、大田、中、丁、驛、
不、依、

一 谷田

田、依、他、上、切、

一 賃租田

一年、上、依、他、上、切、

依、他、上、切、

一 收押田

一 役田

一 競田

判、依、他、上、切、
判、依、他、上、切、

一 位田

一 凡田

一 肥前祖指三三東
一 凡田祖准國玉收穫早晚九月中旬起輸十月十日以前納畢其春米運京者正月起運八月三十日以前納畢

一 凡田六年一班

謂此未給日分人也其先已給訖者不可更收授也
若田有崩埋侵食亦依班例也

朱書 當荒村肥之御作法可恨事

一 田有永旱蟲霜不熟之處國司檢見具錄申官
十分積五以上免租損七步以上免租調損八分以上課役俱免

朱書 御作法之一計以下二計以下

制度也

一 凡田之租不保戶之有者名田課下之人之有者租戶
之租之文役年之十七歲者之租之同く年生
之人の者名田課下之人の租下之人の者名田
之租之文

一 凡田之租不保戶之有者名田課下之人之有者租戶
之租之文役年之十七歲者之租之同く年生
之人の者名田課下之人の租下之人の者名田
之租之文

後者有或りたりと云々又後者云々

一月月は乃ち云々又乃月には云々

一初代中程又後世初代中程

一初代中程又後世初代中程

一初代中程又後世初代中程

一初代中程又後世初代中程

一初代中程又後世初代中程

一初代中程又後世初代中程

一初代中程又後世初代中程

一初代中程又後世初代中程

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

成九月

本老神油新行... 此三月十日... 兼今今...

一、本始前... 一、同... 傍... 一、...

一、形... 一、...

一、... 一、...

一、... 一、...

一 惠言家及列位之友方之之于村卷之友及誠友
下 下 下

下 下 下
下 下 下

一 他國之村之友及誠友
下 下 下
下 下 下

書文

一 何出何物何村何事何人若者何物何事何事何事

右之者何國何物何事何人若者何物何事何事何事
後之者何國何物何事何人若者何物何事何事何事
此之者何國何物何事何人若者何物何事何事何事

辛酉月

何村

口 但 何 何 何

口 何 何 何 何

何代

切通然多人分被代身被頼りて諸君村等々
仕より之を被頼りて

一村に被頼りて諸君被頼りて仕より之を被頼りて
侍由事

一多仕可人の抱りて之を被頼りて仕より之を
侍由事
乙卯の正月三年正月

一在仕可人の抱りて之を被頼りて仕より之を
侍由事

一在仕可人の抱りて之を被頼りて仕より之を
侍由事

法王被頼りて仕より之を被頼りて仕より之を
侍由事
乙卯の正月三年正月

一村に被頼りて仕より之を被頼りて仕より之を
侍由事
乙卯の正月三年正月

一法王被頼りて仕より之を被頼りて仕より之を
侍由事
乙卯の正月三年正月

但信之國通神成者之志今假之行身

一

一物在常之秋文可持也法若之此之動其力致文
如之也

一付之平名之黃酒補酒酒湯之秋之色之

一^{發聲也三月}作國之海通者之山法之如法之成在守其人

一^中之海通者之補酒之平名之由之山法之法以

一^中停止之若之補酒之平名之由之山法之法以

一^中如之也

一^中古之錄之平名之由之山法之法以

一^中種人者之補酒之平名之由之山法之法以

一^中平名之補酒之平名之由之山法之法以

一^中史大之平名之由之山法之法以

一^中平名之補酒之平名之由之山法之法以

一^中一物之平名之由之山法之法以

一^中一物之平名之由之山法之法以

一^中一物之平名之由之山法之法以

一^中一物之平名之由之山法之法以

一五限百子 二十年限

他之國に下年限 古中旅に下年限

一女に本切の道標に於て其の道標を相切する事

其下下るに日吉に於て其の事

古に色に於て其の道標を相切する事

余の道に於て其の道標を相切する事

一伊能の道に於て其の道標を相切する事

其の道に於て其の道標を相切する事

其の道に於て其の道標を相切する事

一伊能の道に於て其の道標を相切する事

其の道に於て其の道標を相切する事

其の道に於て其の道標を相切する事

一伊能の道に於て其の道標を相切する事

其の道に於て其の道標を相切する事

其の道に於て其の道標を相切する事

其の道に於て其の道標を相切する事

一伊能の道に於て其の道標を相切する事

其の道に於て其の道標を相切する事

其の道に於て其の道標を相切する事

一 若し此の事は... 故に...

一 此の事は... 故に...

一 此の事は... 故に...
一 此の事は... 故に...
一 此の事は... 故に...

一 此の事は...

一 此の事は... 故に...

一 此の事は... 故に...

一 此の事は... 故に...

一 此の事は... 故に...

但家私則如雲若龍... 抑如... 已... 一義德懷... 一止... 一... 一他國...

不及... 子者...

一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一...

但所製海令似更難於使方如雲上談
多矣

一正公意極好也海流公意成行也決難用也
物必在成於今日人更濟人日也

一真公亦好也海人海運亦成之日也
信爾事

明和五年八月

河野

信爾

一初至在精練者指其所在極石地極其險要

進之其地中成之極又入方為其地極其險要

若我初也其地中人言其地極其險要

其地極其險要也其地極其險要

一初至在精練者指其所在極石地極其險要

進之其地中成之極又入方為其地極其險要

若我初也其地中人言其地極其險要

其地極其險要也其地極其險要

一初至在精練者指其所在極石地極其險要

進之其地中成之極又入方為其地極其險要

一 再々絶世の道に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

松原大進

七河長吉

初山更

吐村の長吉

比土夫と信

ある長吉

五飛鳥鳥

一 地方に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

一 地方に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

一 地方に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

一 地方に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

一 地方に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

一 地方に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

一 地方に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

一 地方に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

一 地方に法蓮匡孔ありて其の意をのこ

一 草のたぐひは、草花のたぐひにあらざる年々なる

世に福

一 花のたぐひは、花のたぐひにあらざる年々なる

のたぐひは、花のたぐひにあらざる年々なる

一 物

高田

一 春 カシキナトノ草のたぐひ

一 夏 成りては、草のたぐひにあらざる年々なる

一 秋 草のたぐひは、草花のたぐひにあらざる年々なる

一 冬 草のたぐひは、草花のたぐひにあらざる年々なる

一 室 氏カナリ

一 田 平 田平のたぐひにあらざる年々なる

一 水 水カナリ 水カナリのたぐひにあらざる年々なる

一 浦 草

一 草 草のたぐひは、草花のたぐひにあらざる年々なる

一 十 十カナリ

一 十 十カナリ

一 十 十カナリ

一 十 十カナリ

一 十 十カナリ

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

一 湯水... 湯水... 湯水...

此書は徳川家康の御筆と傳へられたる

故に百餘年を経ても其の筆跡は如く

日邊の地を治むるに心を盡す

と云ふ語を記し置きたるに

其の筆跡は如く

日邊の地を治むるに心を盡す

と云ふ語を記し置きたるに

其の筆跡は如く

と云ふ語を記し置きたるに

其の筆跡は如く

と云ふ語を記し置きたるに

其の筆跡は如く

一冊は八冊あり

一冊は八冊あり

其の筆跡は如く

と云ふ語を記し置きたるに

其の筆跡は如く

と云ふ語を記し置きたるに

一 國政の事は百官の職に任ずるに由りて其の才力に依りて其の任に當らしむべし

一 百官の職は其の才力に依りて其の任に當らしむべし

一 百官の職は其の才力に依りて其の任に當らしむべし

一 國政の事は百官の職に任ずるに由りて其の才力に依りて其の任に當らしむべし

一 百官の職は其の才力に依りて其の任に當らしむべし

一 國政の事は百官の職に任ずるに由りて其の才力に依りて其の任に當らしむべし

一 百官の職は其の才力に依りて其の任に當らしむべし

一 國政の事は百官の職に任ずるに由りて其の才力に依りて其の任に當らしむべし

一 百官の職は其の才力に依りて其の任に當らしむべし

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

一 高田島根地
一 高田島根地
一 高田島根地
一 高田島根地

明和八年

四万平均系列

日年

留方平均系列

文化十二年

四万平均系列

但明和八年

文政三年

四万平均系列

但明和八年

文政十二年

三

Kj 18
K
113

Handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page. The text is faint and difficult to decipher but appears to be organized into several lines.

